

みやぎ県南医療生協だより

第165号



みやぎ県南医療生活協同組合
創立30周年



国際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます

2025年9月30日現在
●組合員数
5,623名
●出資金総額
11,048万円
発行：みやぎ県南医療生活協同組合

介護保険のことは ケアマネジャーにご相談を！

しばた協同クリニック内には居宅介護支援事業所があり、ケアマネジャーが在籍しています。

（介護認定調査）
申請を行うと認定調査員が、自宅や入院先の病院等に心身の状態や普段の生活状況を確認に来て、認定調査を行います。

「介護のことで相談したい」「介護保険のサービスを受けたい」「介護の認定は受けたけど、そこからどうしたらよいか分からない」「デイサービスやホームヘルプサービスを受けたい」そういったことがありましては是非ご相談下さい。

後日、調査結果や調査時の特記事項と主治医意見書を基に介護認定審査会が開催され認定結果が出ます。

（認定結果が届いたら）
市町村から要支援1、2、要介護1～5、非該当の結果が郵送されてきます。

○要介護1～5の方でサービスを利用したい方は、居宅介護支援事業所に連絡しケアプランの作成を依頼します。

○要支援1～2の方でサービスを利用したい方は、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所に連絡し、介護予防ケアプランの作成を依頼します。

（相談や申請）

お住まいの市町村の窓口や地域包括支援センター、居宅介護支援事業所に相談し、介護保険の申請を行います。



ケアマネジャーの井上(左)と福岡

（ケアマネジャーとの面談）

ケアマネジャーが自宅等を訪問し、利用者や家族と面談を行い、利用者が日常生活で困っていることや支障があること等の課題を分析し、「長年住み慣れた場所から出る限り自立した生活を送れるよう」に、どんな目標を立ててどんなサービスを活用していくのかを計画したケアプラン原案を作成します。

（サービス担当者会議）

利用者や家族、サービス担当者やケアマネジャーが集まり、ケアプラン原案についてお互い話し合い、了承が得られればサービスが開始されます。

（利用できるサービスの種類は？）
訪問入浴、訪問介護、訪問看護、訪問リハビリテーション

訪問入浴、訪問介護、訪問看護、訪問リハビリテーション

しばた協同クリニック
居宅介護支援事業所
TEL 0224-88-3769



あおぞらだより

今年の夏も毎日暑い日が続きました。

熱中症や脱水症などにならないようにと、スポーツ飲料、乳酸菌飲料、かき氷、アイスクリーム、ソーダ水、アイスキャンディー、という品種の、背中がキラキラしたメダカたちを眺めて涼やかな気持ちになってもらっています。

少しでも暑さをしのぐために「変わり湯」にも工夫を凝らして、全国の名湯の入浴剤やレモンの入浴剤などを提供。好評だったのが「鳴子温泉」で、硫黄のほのかな香りに「懐かしい」昔を思い出すねえ。「あの温泉場にもう一回行きたいなあ」などとお話も弾んでゆったり入浴を楽しんでいただきました。

8月18日から23日までは毎年恒例の「夏祭り会」を実施しました。
ボランティアの方々にご協力をいただいてスイカ割りや太鼓の演奏、盆踊り、舞踏、ダンス、歌、ギター演奏など明るく賑やかで楽しい一週間でした。
今夏、研修の大学生が5人来てくれました。



敬老会でハイチーズ(9月)



麻雀班会の様子(槻木支部)



利用者の皆様と一緒に将棋やゲーム、特技を披露してくれたりして楽しく交流しました。

7月、8月は「夏のおためし体験利用食事無料キャンペーン」を実施。
13人の方に体験していただき、その中の多くの方が是非あおぞらを使いたいと新規契約してくださいました。

これから本格的な秋に向けて、干し柿作りや紅葉ドライブなどを計画しています。

あおぞらではご家庭で不要になったタオルやシーツを募集しています。ご協力よろしくお願いいたします。



赤しそジュース作り



船岡支部
岡本 隆

趣味を生かしましょう！

リレーエッセイ(98)

けんなん



一緒にラウンドしませんか？

活動交流会に学ぶ

船迫支部 理事 齋藤 清

8月28日、宮城民医連協同組織活動交流集会在開催され、県南からは6人がウェブで参加しました。

今回の集会のメインテーマは「安心して住み続けられるまちづくりをめざして」山梨県のNPO法人による生活支援の取り組みについての講演に続いて、各組織の活動発表が行われました。

私たち県南医療生協からは、船迫支部が取り組んでいる行政区主催の「いきいきサークル」への参加について報告しました。行政区と連携して尿塩分チェックやフレイル予防につながるメニューが好評で継続していることを報告しました。

それぞれの組織の活動を知ること、自分たちに足りない点や、これから取り組むべきことについて多くを学ぶ貴重な時間となりました。



ウェブでの活動交流会

県南からの報告の要約を紹介します。

行政区との連携―「いきいきサークル」に参加して

行政区主催の「いきいきサークル」は2023年度に始まりました。その際、医療生協が持つ健康づくりの企画もぜひ参加させてほしいと提案し、年間活動計画に組み込まれることになりました。

「いきいきサークル」には約50人が参加し、社会福祉協議会からの提案も踏まえ、健康につながる多様な

クルに参加しています。

これらの取り組みは、医療生協が掲げる「地域まるごと健康づくり、組合員参加を豊かにひろげる」という方針でもあり、より地域に密着した活動として積極的に取り組んでいきたいと思っています。



発表する齋藤清理事

誰もが安心して医療を利用できるように

専務理事 佐藤 望

全日本民主医療機関連合会（当法人も加盟）では、「経済的な理由で受診が遅れたことによる手遅れ死亡事例調査」を実施し、昨年の全国調査では加盟する病院や診療所692事業所を対象に、23都道府県から48事例報告がありました。宮城からも1事例報告しています。

48事例の調査結果です。性別では男性が85%、女性が15%と男性の割合がかなり高い結果でした。年齢層では60代が最も多く35%を占め、現役世代の30～50代も27%を占めました。世帯構成では独居が最も多く63%を占めました。

雇用形態では無職が52%を占めました。65歳未満の現役世代でも無職が52%を占めています。42%の人が負債を抱え、国保料（税）等の保険料の未払いが続き、無保険になる事例が最も多

医療費、薬代の窓口負担が払えず孤立し、医療や社会保障制度につながるものが難しい状況になっているのではないのでしょうか。本来であれば国の責任で、受診をためらわないような公的支援を行う必要があるのですが、実際は社会保障費を削減し続けています。

私たちは誰もが安心して医療を利用できるように、国民健康保険制度の改善、医療費や薬代の窓口負担金の軽減、生活保護制度の改善を求めています。

出張健康講話

角田市の東根地域のサークルからの依頼で、しばた協同クリニックの元看護師の寺島万里子さんと組合員の佐藤とし子さんが講師として参加しました。

フレイル予防の「あいいうべ体操」や握力測定、手話、歌など多彩なプログラムを実施。みなさんとてもお元気で、交流を通じてこちらが刺激をいただいた時間となりました。

（事務局まとめ）



東根地域の方々との交流

わいんぼー 子育てひろば開催中

◆毎月第3火曜日 10:00～11:30
◆新栄集会所

子育て中みなさん！
ほっとひといきしませんか？

12月16日(火)はクリスマス会を開催します！

詳しくは事務局 TEL 0224(57)2328まで



なかよくあそんだよ！(第1回7月)
※写真は加工してあります

『みんなで 楽しく歌おう会』



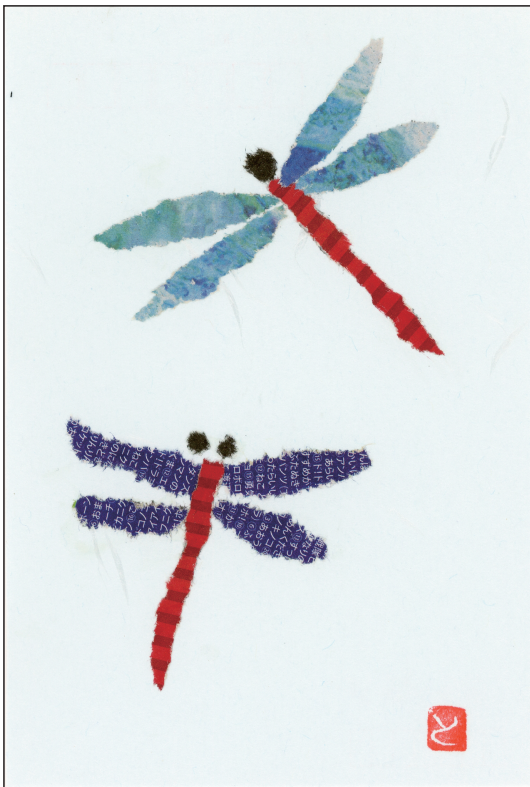
仙台うたごえの店
バラライカの
南部大地さん
によるピアノ伴奏で
歌います

【いつ】11月9日(日)
【どこで】新栄集会所
(ヨークベニマル向い)
【なんじ】午後1時半～3時半
【参加費】300円

★飲み物を各自ご持参ください

『どなたでも参加できます』

【主催】医療生協健康まつり合唱団



【日下智江さんの新聞ちぎり絵】

『医療生協強化月間』 のお知らせ

11月30日まで、みんなで3つの目標に取り組んで、医療生協を盛り上げていきましょう！

- 1：仲間を増やそう！
お友達や家族に医療生協のことを伝え、加入をおすすめ！
- 2：出資金を増やそう！
組合員みんなで少しづつ出資して、より良い医療や活動につなげよう！
- 3：班会を開こう！
班会を開いて健康づくり！

各支部・班で目標達成に向けて盛り上げていきましょう。

※3課題達成班には奨励金が支給されます。

支部だより

班長会開催！

槻木支部 太斎 義明

槻木支部では定期的に支部班長会を開催していて、9月3日はほえみ槻木にて第2回班長会が開催されました。

班長さんには地域活動の要として、中心的役割を担っていただいております。槻木支部は、東は阿武隈左岸から西は柴田町と村田

町の境までと、広いエリアを有しています。

日頃顔を合わせる機会の少ない仲間が、班の活動状況や悩みなどを語り合いました。

また、槻木支部では「たより」を手配りしていて、多くの班長さんにご協力をいただいております。

会員の増減や配布協力者の変更が生じた場合の対応などが支部長から説明がありました。

そして9月は3課題の強

野菜作りに汗を流す男組班！

船迫支部

今年は「畑づくり」をテーマに、職員も参加でスタート！

まずは春のジャガイモ植えから。みんなで力を合わせて作業した甲斐あって、7月にはたくさんジャガイモを収穫することができました。



▶立派に育ったじゃがいもの収穫

男組班のメンバー▶



活動状況などを語り合いました

化月間の開始月でもあり、それについての取り組みも話し合われました。

今年も是非3課題を達成しようと、気持ちを引き締めた班長会でした。

水にぶかぶかとおたっしやに！

健康運動指導士 林 治

「じいじ、すごい！すごい！」

去年の夏、プールでクロールを泳いだら、娘と孫にほめられ、有頂天。

足のつかない孫が水にもぐっては、パアッと息を吐

き、しがみついています。

力強く愛おしい。

それ以来週2日プール通い。ユーチューブで片手クローラや、前で手を揃えてからかく、キャッチアップクロールなどの練習方法を学び、静かに流れるような美しい泳ぎを見て憧れたりしました。

水に頭まで沈めるとヒヤ



シリーズ訪問看護 23

ちよつと豆知識

訪問看護ステーション 柚子

作業療法士 伊藤 智之

(前号からの続き)

認知症の分類

前頭側頭型認知症

【症状】

『初期』

- ・反社会的行動…万引きやよその部屋から黙って物を拝借する
- ・常同行動…何度も同じコースを歩いたり決まった時間に同じ行動をとったりする

『中期』

- ・言語障害…同じ言葉を繰り返して、言葉自体が短くなる、ボキャブラリーが乏しくなる
- ・自覚性低下…抗うつ状態になり、やる気がなくなる
- ・前頭側頭型認知症は若年層にも起こりやすい認知症です。
- ・平均的な発症年齢は55歳前後と言われており、国の難病にも指定されています。

前頭側頭型認知症は前頭葉や側頭葉の萎縮が原因で起こります。

脳の前頭葉は人格や行動をつかさどる部位なので、発症すると社会的な行動がとれなくなったり、感情の抑制がきかなくなったりします。

身だしなみに気を配れなくなる方や、暴言が増える方もいるでしょう。

側頭葉は言語をつかさどる部位でもあるため、萎縮が始まると相手の言葉の意味がわからなくなったり、喋りにくくなったりするこ

消費者のくらしと健康を守る

第46回宮城県生協組合員集会

理事 太斎 義明

宮城県生協組合員集会が9月19日、東京エレクトロホールで開催され、約500人が参加した。

冒頭、国際協同組合同盟会長のビデオメッセージが発表された。更に活動紹介

として『みやぎ県南医療生協』も紹介された。

その後は尺八とピアノのミニコンサートがあり、楽しい集会となった。

締め括りは集会決議である。力強く採択して集会は終了した。

読者の文芸

《俳句》

ひまわり

向日葵の輪唱空まで届きけり 永野シン

樺太の色濃き夕焼母の忌来 鈴木純子

ふと洩らす吐息となりぬ初紅葉 日下節子



平澤真悟さんと小平圭亮さんの演奏

のちは恒例のアップル後進だが、私は所用で参加できなかったのが残念。

しばた協同クリニック診療案内

受付	月	火	水	木	金	土
午前 9:00 ～ 12:00	(一般外来) 小幡 ・ 藤原 (月1回)	(一般外来) 小幡	(一般外来) 小幡	(一般外来) 小幡 ・ 本郷 (第1・第3・第5) ・ 花木 (第2・第4)	(一般外来) 小幡	(一般外来) 小幡 (第1・第3) ----- 糖尿病外来 (完全予約制) 沖本 (第3)
午後 14:30 ～ 17:00	(一般外来) 小幡 ・ (訪問診療) 藤原 (月1回)	(一般外来) 小幡	休診 (訪問診療) 小幡	休診 (訪問診療) 小幡	(一般外来) 小幡	休診

☆休診日・日曜、祝日、第2・4・5土曜日。
☆臨時休診や診療体制の変更などは院内、ホームページにてお知らせします。
☆当院は予約制としております。受診をご希望の方はクリニックまでご連絡ください。
電話 0224(57)2310



季節性インフルエンザ・コロナウイルスの予防接種が始まりました。
ご希望の方はクリニックまで。
電話受付時間 14:00～17:00

HP・URL <https://miyagikennan-mcoop.com/>

組合員のひろば

タンパク質を
しっかりとうろう！

大河原支部
さくら班班長 足利 和子

今回の班会は料理！タンパク質をテーマに、チキンとチーズのレモン冷製パスタ(タンパク質21gと豆腐とわかめの酢味噌サラダ(タンパク質6g)を調理。初挑戦の冷製パスタも時短で簡単大成功！酢味噌が特に好評でアレンジの可能性も広がりました。満足感たっぷりの活動となりました。



冷製パスタ(左)と酢味噌サラダ

下半期計画班会

槻木支部・西2班

9月26日、畑井紀代子班長宅に14人が集まり、下半期の計画を立てました。持ち寄った手作りのお菓子と美味しい珈琲で会話も弾み、班会計画もスムーズ。また久しぶりに顔を合わせる方もおり、終始心和むひとときとなりました。帰り際、お庭の桜の木を眺めながら、「春は庭で茶話会をしたいね」という素敵な提案も！また、増資と加入があり月



班会参加の皆さん

外食班会

槻木支部・たんぽぽ班

腕自慢の「たんぽぽ班」が、たまには上げ膳据え膳で「梅の花」で外食班会を開催。湯葉と豆腐の懐石料理を味わいながら、ただ美食を堪能するだけでなく、食材や味付けに鋭い視線を向け情報収集。プロの技から学びを得ようとする、美食家たちの探究心が光りました。和やかな雰囲気の中、料理の話題から日々の出来事まで語り合い、有意義なひとときを過ごしました。



お食事前の期待の笑顔！

読者の声

☆デイサービスでもまちがいがしをしてしています。今回も楽しく答えを見つけたことができました。

(角田・Mさん)

☆93歳で要支援1の母に、すぐ近くに一人で暮らしてもらっています。いつまで一人で暮らせるのかを考えるようになりました。お世話する私の体力・気力は持つのだろうか？

(船岡・Kさん)

☆暑い、熱い？の毎日仕事ご苦労さんです。山元町浜通り、東風のある日は、クーラー・扇風機不要の日がありますよ！

(山元・Iさん)

☆本郷たか子さんの「新聞ちぎり絵」スバラシイ！自然に笑顔にさせられます!!

(船迫・Wさん)

編集後記

(前号よりつづき)

母と同居して早6ヵ月、最初の頃は不安からなのか落ち着きがなく、穏やかだった顔も別人のようでした。

弟の送迎で2回程自宅へ泊り、お風呂にも入ったとか。

ある日、帰ってくるなり「ここがきれいでいい、死ぬまでお世話になるのだからよくお願いします」と言われた。

要支援1から要介護3になり、5月から週1回訪問入浴介護にお世話になっており、小幡先生にも月1回訪問診療して頂き、先生のアドバイスで、次男にダイニングコタツを注文してもらい、6月からはダイニングコタツで食事をしています。

6月に「あおぞら」のお試しに、7月から週1回、8月は週2回、9月も週2回(16時30分まで)と月を追って変更しました。

日々いろいろな事がありますが、自分の事として反省しながら母と向き合っていると思います。(鈴木八重子)

まちがいさがし

5つあるよ。みつけてね!!



上の絵の中に5つのまちがいがあります。答えを葉書に書いてお送り下さい。余白に『読者の声』をお寄せ下さい。正解者の中から5名の方に商品券を送ります。締切りは11月28日です。

〒989-1607 柴田町船岡新栄4丁目4番地1
『みやぎ県南医療生活協同組合 事務局』宛

おめでとうございます!!

★第164号の当選者は次の方々です。

◇矢吹千津子さん(槻木) ◇石川志美子さん(船岡)
◇水戸ともえさん(角田) ◇小林 咲代さん(東船岡)
◇成瀬 俊子さん(東船岡)